

再造林課題解決へ 研究の成果を発表

県森林研究所

県森林研究所(美濃市曾代)の研究発表会が、関市若草通のわかさ・プラザで開かれた。研究員らが「再造林の課題解決に挑む研究開発」をテーマに最新の研究内容を発表した。森林の「高齢化」が進む中、伐採跡地への再造林の重要性が増している。発表会では、災害に強い作業道整備を支援する地図の活用方法や、低コストで育成できるヒノキのコンテナ苗、生

分解性資材による再造林の効果などが発表された。

研究成果をまとめたポスターの展示もあった。長野県の林業総合センター、工業技術総合センターの研究者も登壇した。

(榊原あやな)



ポスター発表を見学する参加者
|| 関市若草通、わかさ・プラザ